



いろはニジマスが釣れ  
喜ぶ子どもたちにほへ  
とつかみ取りを楽しむ  
子どもたちちりめる親  
子や兄弟で釣りを楽し  
む参加者を釣り大会の  
全景

# 文芸ひろば

## 詠歌の紹介

### 千代田俳句同好会

高床は人の背の文青葉風  
草蔭の群れ咲く水辺明るかり  
芝原の平次遺跡夏の蝶  
童風の抜ける床下倉遺跡  
茅葺きの屋根の綻び日の盛り  
風涼し高床式の遺跡なり  
板倉に板倉にさす新樹光  
茶椀の苔むす大樹力あり

### 出島短歌会

五月晴れ「デイサービス」でバラ園に花と香りに戀ふひととき  
今宵また母を偲びて泣く孫の時よ涙をぬぐっておくれ  
垂直に落下の夕陽引き入れて沼地は悪言の夕ぐれとなる  
和ダンスの揺れにあわてて逃げる猫三二一の怖き忘れぬ  
里の母髪ふつくりと結び上げしを香き記憶の一夏にあり

- 飯沼礼子
- 大西周
- 加藤貞江
- 熊沢鉄雄
- 小松崎正生
- 小松崎緑
- 神原清志
- 桜井愛子

- 小室貞江
- 名倉親子
- 岡田恭子
- 浜田留子
- 飯島ヒロエ

投稿作品  
緋のいろにあちこち石楠花咲き閑けて往西寺の庭初夏を迎ふる  
古の重りを胸に夫と二人京の都路歩む水無月  
梅雨になると大楠公の桜井の列れ訥訥語りし父思い出す  
桑の実を食みしは遠く疎閑地にはの紫の小花いまに知る  
夏まつやかすみの湖を渡る風波穂やかに心安らぐ  
露をむく木陰の妻のありがたき昼餉の想い二人合わせて  
玄関にシルバーカーを取り込みぬ恨めしきかな梅雨入りの空は  
懐おろし類なてる風木の芽時

- 的場登志子
- 沽野はつ子
- 菅谷味子
- 渡辺静江
- 石塚清
- 吉田正道
- 高橋フミ
- やまうちいむ
- 扶美世

▶ 投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。7月3日迄までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。

## Camera Report



### 子ども会育成連合会事業 子どもたちの 歓声が響き渡った一日 ～親子釣り大会～ in 雪入川

5月30日、雪入川で「親子釣り大会」が行われ、108組264人の親子が参加しました。大会を見学に来訪した家族も多くあり、雪入川が多くの人で賑わいました。

参加した親子は、つり針にイクラやブドウムシなどの餌を付け、糸を垂らし、放流されたニジマス釣りあげました。日の当たり具合や水の流れなど、釣りをする場所の条件により釣れた数量に差はあるものの、参加者は楽しい時間を過ごしました。大会結果は、昨年準優勝の川崎親子が雪辱を果たし栄冠に輝きました。

また、釣り大会の表彰式後に恒例のつかみ取りが行われ、子どもたちは川の中に入り、必死に魚を追いかけていました。子どもたちにとって、普段の生活では味わえない、良い体験の機会となりました。

#### 《親子釣り大会成績》(敬称略)

- ◎総重量
- 優勝 4.15kg 川崎達樹・和美(下稲吉東小)
- 準優勝 3.90kg 香取祐輝・孝幸(佐賀小)
- 第3位 3.50kg 宮崎泰雅・美江(牛渡小)
- 第4位 2.40kg 清水虹花・藤原正(下稲吉小)
- 第5位 2.30kg 高岩楓花・正臣(新治小)
- ◎大きさ
- 教育長賞(大物賞) 40cm 栗原知穂・世吏(新治小)



【優勝】

【大物賞】

# ジオパーク構想豆知識

市民学芸員が語る

シリーズ③

## 「カキアイランド」を君は見たか？ (崎浜カキ化石床)

【13万年前の海と貝の化石】  
霞ヶ浦周辺では、台地周辺の地層から貝の化石が見つかることがあります。これらは、約12万～13万年前に関東の大部分が浅海だった頃、その海底に棲んでいた貝たちの化石です。この広大な浅海は、「古東京湾」と呼ばれています。

化石の中には、現在の海では見ることができない貴重な絶滅種も確認されています。貝は、種類によって好む水温や場所が違いため、13万年前の海底環境を知るための重要なヒントとなります。

【崎浜カキ化石床】  
加茂地区には、「崎浜カキ化石床」と呼ばれる場所があります。これは、古東京湾の泥干潟に密集して生息したマガキが化石となったもので、県道118号線沿いに高さ5m、幅約70mにわたる化石の層を見ることが出来ます。この化石層の正体は、カキ殻に卵が付着し成長、そのカキ殻にまた卵が付着し成長するといったことを繰り返してできた「カキの島」なのです。

【崎浜カキ化石床と古墳時代のお墓】  
古墳時代には、カキの化石層をトン



↑崎浜の県道118号沿いに「崎浜カキ化石床」があります。

ネル状に掘り込んで、横穴墓というお墓が作られました。横穴墓は、茨城県内では東北地域に集中し、県南ではあまり見られない墓制です(崎浜横穴群は、現在16基が確認されています)。さらに、崎浜横穴群の場合は、亡骸を安置する場所(屍床)が段高く造られた「高壇式」(房総地域にみられる形態)と呼ばれ、県内ではかすみがうら市でのみ確認されています。古墳時代における他地域との交流、もしくは人の移住などを物語る貴重な遺跡です。

次回は閑居山百体磨崖仏について紹介します。(深井 征一郎)  
郷土資料館

☎029(896)0017